

## 行事案内

### 特別プログラム（一般公開企画・無料）

#### 特別講演：循環型社会形成への期待

東京大学名誉教授 鈴木 基之 先生

9月16日(火)16:30～17:30 1F デネブホール



廃棄物の3Rなど、新たな時代に対応しようと種々の努力がなされているものの、資源循環という観点からは未だ道は遠いように見える。有限環境下で持続可能な人間活動を営むためには、産業活動、ライフスタイルの根本的な変化が求められるが、廃棄物資源循環学会はこのための大きな役割を果たすことが期待される。これまで蓄積されたであろう科学技術・学術資産を構造的に組みあげ、本来の目的とする「循環型社会の構築」に向けて、大きな視点で取り組んでいただくことを祈りたい。

※鈴木先生より参考資料を頂いた場合は数日前をめどに[研究発表会専用ページからダウンロード\(PDF\)](#)できるように致します

### 国際シンポジウム・International Symposium

#### 「プラスチックリサイクル」 “Plastic recycling”

9月15日(月・祝)13:30～15:00 第6会場(7F 704)

日本の家庭ごみでは、プラスチック製容器包装のリサイクルに取り組む自治体も多く、また、最近では小型家電製品のリサイクルにおいてプラスチックのリサイクルも課題となっています。そこで、今回の国際シンポジウムでは、プラスチックリサイクルを取り巻く制度や技術、課題について、日本及び韓国の実態に関する情報交換を行うと同時に、将来の展望について議論します。容器包装リサイクル法の見直しにおける多様な評価の視点も含めます。

○ 司会：京都大学 教授 酒井 伸一 氏  
ソウル大学 教授 Jae Yong Kim 氏 (Prof., Seoul National University)

○ 使用言語：英語

○ プログラム：講演1 プラスチックの特性に適合したリサイクルの将来

東北大学 教授 吉岡 敏明 氏

Future of Plastic Recycling with Adapting to the Characteristics of Plastics

Tohoku University Prof. Toshiaki Yoshioka

講演2 韓国における廃プラスチックリサイクル管理の現状

Current status of waste plastic recycling management in Korea

Resource Recycling Division, Ministry of Environment Mr. Hyein Heo

講演3 容器包装を中心としたプラスチック廃棄物のリサイクルシステムの評価

東京大学 教授 森口祐一 氏

Assessment of Recycling Systems for Waste Plastics focusing on Containers and Packaging

The University of Tokyo Prof. Yuichi Moriguchi

講演4 韓国における物質フロー解析を用いた廃プラスチックのリサイクル率

Determination of recycling rates of waste plastics using material flow analysis in Korea

Chungnam National University Prof. Yong-Chul Jang

討論

※参考資料は、9月上旬をめどに、[研究発表会専用ページからダウンロード\(PDF\)](#)できるように致します

### 研究発表（口頭発表・ポスター発表・International Hybrid Session）

**発表予定件数：328編**（口頭発表：181編、ポスター発表：99編、International Hybrid Session：48編）

- ・講演原稿は、必要に応じて研究発表会専用ページからダウンロードする電子版(PDF)のみとなります。
- ・International Hybrid Sessionは90秒の口頭発表終了後にポスター発表も行います。
- ・ポスター発表の中から「優秀ポスター賞」、International Hybrid Sessionから「国際ポスター賞」が選ばれます。賞は2日目に審査結果の発表・表彰(意見交換会)を行い、「優秀ポスター賞」は後日、ホームページにポスターの原稿を掲載いたします。（「発表ガイドライン」の章にも関連記事あり）